



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦! チャレンジ南関中」

南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 6 (文責 永杉尚久)

地域の方々に感謝

日頃より地域の方々から子どもたちや学校に寄せられる温かい心づかいに感謝しておりますが、つい最近、こんな出来事がありました。

まず、1つ目です。夕方、農面道路を通られた方より「歩道に草が茂っていて、子どもたちの登下校は車道を通らねばならず危ないようです。」というお電話がありました。次の日、確認に行くと既に草が刈ってありました。教育委員会に確認すると、「地域の方が進んで草刈りをされたようです。」とのことでした。とても感謝する次第です。



きれいに草が刈り取られていました。歩道を安心して通行できます。



2つ目です。生徒が下校中に自転車のハンドル操作を誤り、転倒してしまいました。通りがかった方が学校に連絡をしていただきました。学校では、家庭に連絡を取り、担当が現場に駆けつけました。そこには、連絡いただいた方以外にもたくさんの地域の方が心配して一緒に居てくださいました。生徒は大きなケガもなく迎えに来られたお家の方と帰って行きました。生徒を見守る地域の方々がいらっしゃることはとてもありがたいことです。

3つ目です。第1回目のなんかん寺子屋教室が6月16日に開かれました。中高生5名が参加していました。スタッフの方々に分からないところは丁寧にアドバイスいただき、納得した表情を見せていました。毎週水曜日、16:30~18:30までの自分の都合の良い時間帯で利用できます。最後にお



やつもいただきました。スタッフの皆さん有難うございます。

この日はマンツーマンの指導でした。それぞれ英語と理科を教えていただきました。

今日の論語

子曰く、「君子は、その言のみに行は通るるを恥ず。」と。

先生は言われた、「君子と言われる人は、自分の言うことが、自分のできること以上になることを恥としている。」と。

波線部分は、四字熟語で「大言壮語」と表せます。自分の力以上のことを人に話す。口先では大きなことを言っても、実行が伴わないことの意味です。

『簡単に自分にできないことを口にしない。しかし、言ったことは、必ずやり遂げる。』という強い信念を持って、物事に当たることができたらと思います。

言葉には、大きな責任が生まれることを自覚して過ごしていかうと考えます。

校長のひとりごと

「自分の限界に挑戦! その先に見える新しい自分に会いに行こう!」

二十四日に中体連の推戴式を行いました。学校の代表として参加する7つの部の選手に、力を出し切ってくれるように在校生や先生方でエールを送りました。

標題にあげた言葉は、中体連に臨む生徒の一人が考えた言葉です。式の中でこの言葉を取り上げて、気持ちを高めてくれるよう話しました。

それぞれのキャプテンは、大会への目標と昨年、新型コロナウイルスの影響で味わったつらさと今年ではできる喜びを胸に大会に臨む決意を話してくれました。選手の皆さんの健闘を祈ります。

